

SuperStream

製品概要

基幹会計システム- SP20150801 版-



I. 基本機能一覧

- 各種入力
 - － ・振替伝票入力
 - － ・借方固定、貸方固定による入出金入力
 - － ・雛形を利用したパターン入力
 - － ・過去伝票複写入力
 - － ・定例仕訳入力
 - － ・他システムからの外部データ入力
- 各種出力
 - － ・100種類以上の標準帳票
 - － ・ドリルダウン機能が利用できる各種照会画面
- 月次更新・年次更新
 - － ・月次更新による入力制限
 - － ・四半期／半期／年次決算に対応
- 配賦計算
 - － ・多様な配賦基準による配賦計算
 - － ・多段階計算も可能
 - － ・配賦仕訳作成
- 予算管理
 - － ・CSVによるデータ取込
 - － ・複数の予算管理が可能
- プロジェクト管理
 - － ・プロジェクト別損益／予算の管理可能
 - － ・年度を跨った損益計算書が出力可能
- 本支店管理
 - － ・複数の本支店を跨った伝票起票
- 外貨管理
 - － ・必要な外貨を全て登録可能
 - － ・外貨による入力
 - － ・自動換算
 - － ・評価替え仕訳作成機能
- 現預金管理
 - － ・口座別残高管理
 - － ・各種残高管理帳票
- 入出金管理
 - － ・FBデータが作成可能
- 資金繰管理
 - － ・日次／月次／年次の資金繰表が出力可能
- キャッシュ・フロー計算書
 - － ・間接法によるキャッシュ・フロー計算書作成
- 他システムとの連携
 - － ・**SuperStream** シリーズの各モジュールから仕訳連携が可能
 - － ・**SuperStream** シリーズ以外のシステムからも仕訳連携が可能
 - － ・データだけでなくマスタの連携も可能
- その他の機能
 - － ・法人合算機能
 - － ・洗替伝票の自動作成
 - － ・管理会計を意識したコード管理
 - － ・伝票に対する承認機能
 - － ・帳票出力時に配賦／決算の各仕訳を含めるか選択が可能
 - － ・伝票明細消込日付設定

II. 各機能の画面と帳票

機能	画面名	帳票
仕訳入力	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳入力 ・仕訳入力(赤黒入力) ・仕訳承認入力 ・仕訳伝票更新 ・定例仕訳入力 ・定例仕訳データ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳チェックリスト ・伝票発行 ・伝票発行(詳細表示) ・承認/未承認リスト ・仕訳日記帳 ・日計表 ・現金預金残高一覧表 ・伝票管理リスト ・伝票履歴管理リスト ・定例仕訳一覧表
月次・年次処理	<ul style="list-style-type: none"> ・決算仕訳入力 ・決算仕訳入力(赤黒入力) ・遡及仕訳入力 ・仕訳伝票更新 ・月次更新 ・年次更新 ・自動仕訳洗替処理 ・繰越利益管理部門登録 ・消費税集約部門登録 ・消費税振替データ作成 ・消費税振替データ更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表(決算書) ・損益計算書(決算書) ・製造原価報告書(決算書) ・販売費/一般管理費明細書(決算書) ・利益処分計算書 ・消費税振替チェックリスト
画面照会	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳日記帳照会 ・伝票検索照会 ・総勘定元帳照会 ・科目/補助残高照会 ・合計残高試算表照会 ・貸借対照表照会 ・損益計算書照会 ・相手先元帳照会 ・仕訳チェックリスト照会 ・他システム伝票検索照会 ・製造原価報告書照会 	
配賦	<ul style="list-style-type: none"> ・配賦実行パターン登録 ・配賦グループ登録 ・配賦統計基準登録 ・配賦処理登録 ・配賦データ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・配賦グループ一覧表 ・配賦処理一覧表 ・自動配賦チェックリスト

SuperStream-CORE (基幹会計システム)

	<ul style="list-style-type: none"> ・配賦データ更新 ・本支店間配賦データ更新 	
予算	<ul style="list-style-type: none"> ・予算パターン登録 ・予算登録 ・予算金額修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算パターン一覧表 ・予算一覧表 ・予算対比貸借対照表 ・予算対比貸借対照表(包括利益用) ・予算対比損益計算書 ・予算対比損益計算書(包括利益用) ・予算対比製造原価報告書 ・予算対比損益計算書 当月/当期 ・予算損益計算書当月・当期(包括利益用) ・機能別予算対比損益計算書 ・機能別予算対比損益計算書 当月/当期 ・予算製造原価報告書 当月/当期
本支店	<ul style="list-style-type: none"> ・本支店相殺勘定登録 ・本支店勘定部門対応登録 ・本支店振替仕訳入力 ・本支店振替仕訳送受信 ・受信分本支店振替仕訳修正 ・本支店仕訳データ削除 ・本支店仕訳更新 ・受信分本支店振替仕訳承認入力 ・本支店振替仕訳承認入力 ・本支店振替仕訳入力 (複数支店用) ・本支店仕訳データ削除 (複数支店用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本支店勘定部門対応一覧表 ・本支店振替チェックリスト ・本支店振替管理表 ・受信分本支店振替仕訳承認・未承認リスト ・本支店振替仕訳承認・未承認リスト
プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト登録 ・プロジェクト開始残高登録 ・プロジェクト開始予算残高登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト一覧表 ・プロジェクト別科目残高表 ・プロジェクト別予算対比損益計算書
外貨	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨名マスタ登録 ・レートタイプマスタ登録 ・換算レートマスタ登録 ・為替差損益科目登録 ・為替差損益管理部門登録 ・評価替データ作成 ・仕訳伝票更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨一覧表 ・評価替計算ログリスト ・外貨明細表
資金繰管理	<ul style="list-style-type: none"> ・資金科目登録 ・資金取引仕訳パターン登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金繰表出力(日次/月次/年次)

	<ul style="list-style-type: none"> ・資金科目コード設定 ・資金繰計画入力 ・資金繰実績データ抽出 ・資金繰入金予定抽出 ・資金繰外部予定データ取込 	
入出金管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入金入力 ・出金入力 ・入金承認 ・出金承認 ・仕訳伝票更新 ・振込情報マスタ登録 ・FB データ作成 ・入出金仕訳ワーク削除処理 ・入出金チェックリスト照会 	<ul style="list-style-type: none"> ・入出金チェックリスト ・入出金承認・未承認リスト ・入出金一覧表 ・振込情報マスター一覧表 ・FB データ一覧表 ・入出金一覧表
キャッシュ・フロー	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュ・フロー項目名称登録 ・キャッシュ・フロー項目属性登録 ・EXCEL 用項目登録 ・調整仕訳入力 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュ・フロー項目一覧表 ・EXCEL 用項目一覧表 ・調整仕訳チェックリスト(キャッシュ・フロー) ・自動仕訳&精算表作成(キャッシュ・フロー精算表) ・キャッシュ・フロー作成(キャッシュ・フロー計算書)
外部データ取込	<ul style="list-style-type: none"> ・外部データ取込 ・外部エラーデータ検索/修正 ・外部データ承認 ・外部伝票修正 ・外部伝票修正(赤黒入力) ・外部伝票修正(大量データ用) ・外部データ更新 ・スーパーインターフェース ・残高 CSV インターフェース ・外部取込用ワークデータ削除 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部データチェックリスト ・外部データエラーリスト ・外部仕訳データチェックリスト
消費税申告	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税申告マスタ登録 ・消費税申告項目別集計条件登録 ・消費税申告項目集計処理 ・消費税申告項目集計結果確認 ・消費税申告連携処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税申告項目別集計条件一覧表
現預金管理	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金データ取込処理 ・現預金外部インターフェースマスタ登録 ・科目口座管理マスタ登録 ・科目口座登録 ・現預金開始残高登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・現金/預金出納帳 ・銀行別預金別月別残高表 ・銀行別預金別日別残高表 ・科目口座マスター一覧表

SuperStream-CORE (基幹会計システム)

	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金データ退避／復元 ・現金/預金出納帳照会 ・銀行別預金別月別残高表照会 ・銀行別預金別日別残高表照会 	
<p>マスタインターフェース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタIF対応マスタ登録 ・マスタIF取込データチェック・修正 ・マスタIFデータ取込 ・マスタIFデータ取出 	
<p>IFRS複数帳簿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連携元先会社情報設定 ・伝票発番グループ読替マスタ登録 ・IFRS マスタ連携マスタ登録 ・仕訳データ連携開始設定マスタ登録 ・マスタ連携 ・連携仕訳データ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝票発番グループ読替マスタリスト ・マスタ連携エラーリスト

<p>共通マスタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行マスタ登録 ・銀行支店マスタ登録 ・銀行口座マスタ登録 ・銀行振込手数料マスタ登録 ・銀行休日マスタ登録 ・得意先マスタ登録 ・仕入先マスタ登録 ・社員マスタ登録 ・銀行系バッチマスタ登録 ・名称分類マスタ修正 ・口座管理コード一括変換 ・振込先一括変換 ・振込先区分判定マスタ登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行マスター一覧表 ・銀行支店マスター一覧表 ・銀行口座マスター一覧表 ・銀行振込手数料マスター一覧表 ・銀行休日マスター一覧表 ・得意先マスター一覧表 ・仕入先マスター一覧表 ・社員マスター一覧表
<p>基本マスタ登録</p>	<p>(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーマスタ登録 ・メニューセット登録 ・メニューグループ登録 ・クライアント情報登録 ・CORE 新会社セットアップ ・会社情報修正 ・会社期間登録 ・コントロール情報登録 ・コード利用情報修正 ・組織パターン登録 ・組織階層レベル登録 ・会計部門登録 ・集計科目修正 ・勘定科目登録 ・勘定科目属性修正 ・勘定科目税区分登録 ・消費税情報登録 ・入力項目チェック登録 ・システム区分登録 ・伝票発番コントロールマスタ登録 ・開始残高登録 <p>(選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助科目登録 ・機能マスタ名称登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーマスター一覧表 ・組織パターン一覧表 ・組織階層レベル一覧表 ・会計部門階層別一覧表 ・会計部門一覧表 ・管理会計部門一覧表 ・科目一覧表 ・補助科目一覧表 ・消費税情報一覧表 ・印刷フォーム一覧表 ・科目別摘要一覧表 ・仕訳パターン一覧表 ・科目グループ一覧表 ・ユーザー集計科目一覧表 ・機能コードマスター一覧表 ・非継続事業マスター一覧 ・消費税表示設定マスター一覧

SuperStream-CORE (基幹会計システム)

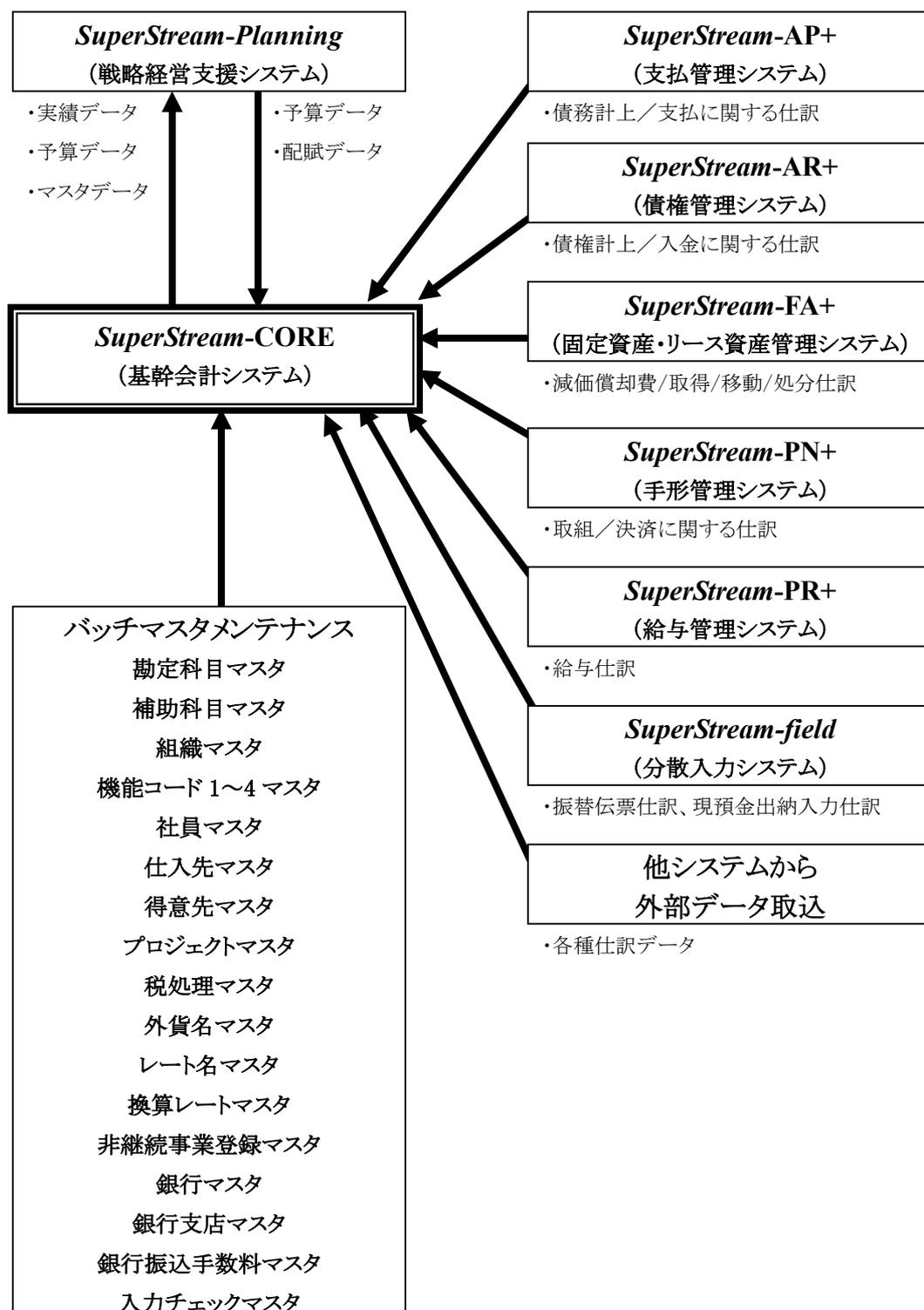
	<ul style="list-style-type: none"> ・会計組織変更 ・管理会計部門登録 ・ユーザー集計科目登録 ・科目別摘要登録 ・仕訳パターン登録 ・定例仕訳入力 ・保留理由マスタ登録 ・印刷フォーム登録 ・科目グループ登録 ・レポートサイクル登録 ・レポートサイクル指示 ・バッチマスタ登録 ・データ退避／復元 ・部門セキュリティ登録 ・科目セキュリティ登録 ・プログラム名称マスタ登録 ・相手先開始残高登録 ・相手先表示設定マスタ登録 ・CORE 初期値マスタ ・消費税表示設定機能 	
各種帳票		<ul style="list-style-type: none"> ・総勘定元帳 ・補助元帳 ・相手先・得意先元帳 ・合計残高試算表 ・精算表 ・損益計算書 ・損益計算書(包括利益用) ・貸借対照表 ・貸借対照表(包括利益用) ・包括利益計算書 ・製造原価報告書 ・科目/補助残高表 ・科目別相手先別残高表 ・科目別消費税集計表 ・科目別消費税明細書 ・科目別機能別残高表 ・非継続事業残高表 ・貸借対照表推移表 ・貸借対照表推移表(包括利益用)

		<ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書推移表 ・損益計算書推移表(包括利益用) ・製造原価報告書推移表 ・前年対比貸借対照表 ・前年対比貸借対照表(包括利益用) ・前年対比損益計算書 ・前年対比損益計算書(包括利益用) ・前年対比製造原価報告書 ・四半期対比損益計算書 ・四半期対比損益計算書(包括利益用) ・四半期対比貸借対照表 ・四半期対比貸借対照表(包括利益用) ・四半期対比製造原価報告書 ・部門別貸借対照表 ・部門別貸借対照表(包括利益用) ・部門別損益計算書 ・部門別損益計算書(包括利益用) ・機能別損益計算書 ・損益計算書 当月/当期 ・損益計算書 当月/当期(包括利益用) ・機能別損益計算書 当月/当期 ・製造原価報告書 当月/当期 ・組織変更前合計残高試算表 ・組織変更前貸借対照表 ・組織変更前貸借対照表(包括利益用) ・組織変更前損益計算書 ・組織変更前損益計算書(包括利益用) ・組織変更前製造原価報告書 ・株主資本等変動計算書 ・株主資本等変動計算書(包括利益用) ・レポートサイクル帳表出力
--	--	--

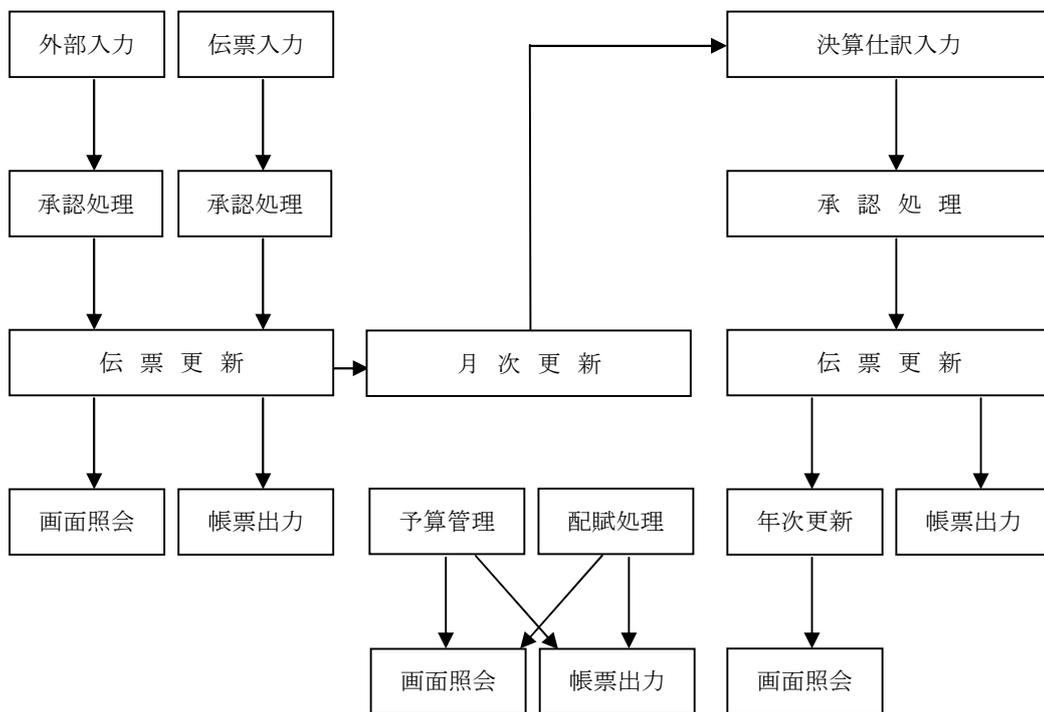
法人合算機能にて利用可能なプログラム画面

仕訳入力	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳入力 ・仕訳承認入力 ・仕訳伝票更新 ・自動仕訳洗替処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・振替伝票発行 ・仕訳チェックリスト ・承認／未承認リスト ・仕訳日記帳 ・伝票履歴管理リスト
月次・年次処理	<ul style="list-style-type: none"> ・決算仕訳入力 ・仕訳伝票更新 ・月次更新 ・年次更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表(決算書) ・貸借対照表(決算書・包括利益用) ・損益計算書(決算書) ・損益計算書(決算書・包括利益用) ・製造原価報告書(決算書) ・販売費/一般管理費明細書(決算書) ・包括利益計算書(決算書)
画面照会	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳日記帳照会 ・伝票検索照会 ・科目/補助残高照会 ・合計残高試算表照会 ・貸借対照表照会 ・損益計算書照会 ・仕訳チェックリスト照会 	
合算処理	<ul style="list-style-type: none"> ・合算処理 ・合算会社登録 ・合算用科目自動登録 ・合算用科目コンバート修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・合算用科目コンバート一覧表

III. 各モジュールとのインターフェース



IV. データフロー



V. マスタ関連

1. コントロール情報登録

SuperStream-CORE では複数会社の管理が可能で、会社毎に会社コード・会計期間(会計期・決算日)を設定します。また、以下のような事項も設定します。

- ・西暦／和暦
- ・配賦処理の有無
- ・仕訳パターン入力の有無
- ・現預金同時更新区分
- ・伝票即印刷
- ・組織変更前帳票出力区分
- ・入出金管理区分
- ・FB データ出力区分
- ・自動洗替機能
- ・伝票即更新区分(入出金用)
- ・9 カ月決算区分
- ・伝票明細消込区分
- ・外貨入力の有無
- ・伝票発番の方法
- ・仕訳承認処理の利用
- ・資金繰管理の運用
- ・外部データ承認区分
- ・履歴区分
- ・入出金承認処理
- ・四半期決算区分
- ・伝票即更新区分(外部用)
- ・元帳の相手科目表示区分(複合仕訳時)
- ・9 カ月決算反映区分
- ・伝票明細消込区分
- ・外貨端数処理区分
- ・伝票欠番再利用の方法
- ・現預金管理の運用
- ・資金り同時更新区分
- ・中間決算の実施
- ・履歴確保の特例区分
- ・入出金仕訳作成オプション
- ・四半期決算反映区分
- ・伝票即更新区分(一般、決算用)
- ・過年度遡及区分
- ・消費税表示設定使用区分

2. コード体系

SuperStream-CORE ではさまざまなコードを利用しています。それらのコードを利用するかどうか、また桁数は何桁にするか等、範囲内で設定することが可能です。システムはこれらの項目の組み合わせ毎に数値残高を保持します。

項目名	コード桁数	名称	名称文字数	略称文字数	
勘定科目	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	3	科目	30	14
補助科目	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	4	補助	30	14
部門	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	3	部門	30	14
機能1	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	4	商品	30	14
機能2	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	3	地域	30	14
機能3	<input type="radio"/> 使用 <input checked="" type="radio"/> 未使用				
機能4	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	3	7/20/20	30	14
仕入先	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	4		30	14
得意先	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	4		30	14
社員	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 未使用	3			

【項目名】	【桁数】	【略称の文字数】	【正式名称の文字数】	【備考】
勘定科目	3～10	1～14	1～30	必須
補助科目	1～10	1～14	1～30	任意(勘定科目毎)
部門	1～10	1～14	1～30	必須
機能1	1～10	1～14	1～30	任意(勘定科目共通)
機能2	1～10	1～14	1～30	任意(勘定科目共通)
機能3	1～10	1～14	1～30	任意(勘定科目共通)
機能4	1～10	1～14	1～30	任意(勘定科目共通)
仕入先	1～20	1～14	1～50	任意(勘定科目共通)
得意先	1～20	1～14	1～50	任意(勘定科目共通)
社員	1～10	1～14	1～30	任意(勘定科目共通)

3. 勘定科目設定

① 勘定科目登録

勘定科目に「内部コード」(科目の属性のテンプレート)を割り当てながら、コード・名称を登録します。

② 勘定科目属性

勘定科目毎に以下のような属性を設定します。

- ・貸借区分(借方科目/貸方科目)
- ・補助区分(補助科目あり/なし)
- ・資金区分(資金科目/非資金科目)
- ・現預金区分(現預金管理あり/なし)
- ・外貨区分(外貨入力あり/なし)
- ・取引先区分(仕入先/得意先/社員/なし)
- ・為替差損益(対象外/実現差損益/未実現差損益)
- ・処理区分(一般科目/非会計科目/管理会計科目)
- ・機能1(設定する/しない)
- ・機能2(設定する/しない)
- ・機能3(設定する/しない)
- ・機能4(設定する/しない)

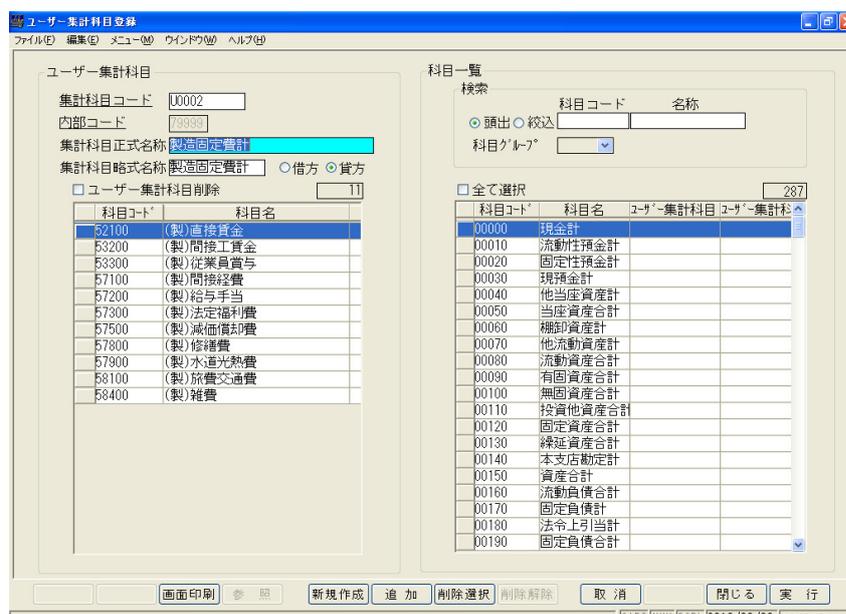
4. 消費税設定

勘定科目毎に消費税に関する処理が設定できますが、事前に以下のような項目を設定します。

【項目名】	【内容】
税処理コード	課税対象・非課税対象の区分、税率、端数処理、端数の単位、仕訳を作成する際の勘定科目を設定します。
有効期間	税処理コードが有効な期間を年月日で指定します。

5. ユーザー集計科目登録

SuperStream-COREでは、予め集計科目が用意されています。それとは別に、必要な勘定科目を自由に組み合わせ、ユーザー独自の集計科目を作成することも可能です。



6. 組織設定

①組織パターン

会社毎に複数の組織構造を保持することができます。この組織構造のことを「組織パターン」といい、「会計組織」と「管理組織」に分類されます。

i. 会計組織

必須で登録する組織パターンです。コードは「0001」固定です。残高を保持するキーの一つで、仕訳入力を行う部門は、必ず「会計組織」に登録されている必要があります。

ii. 管理組織

任意で登録する組織パターンです。コードは任意の 4 桁で設定可能です。会計組織に登録されている仕訳可能な部門を、職能別、地域別、取扱商品別、組織変更前の旧組織等、会計組織の体系にとらわれない形態で組み立てることができます。各組織パターンは帳票を出力するときに指定することができるので、様々な集計単位から帳票を出力することが可能です。

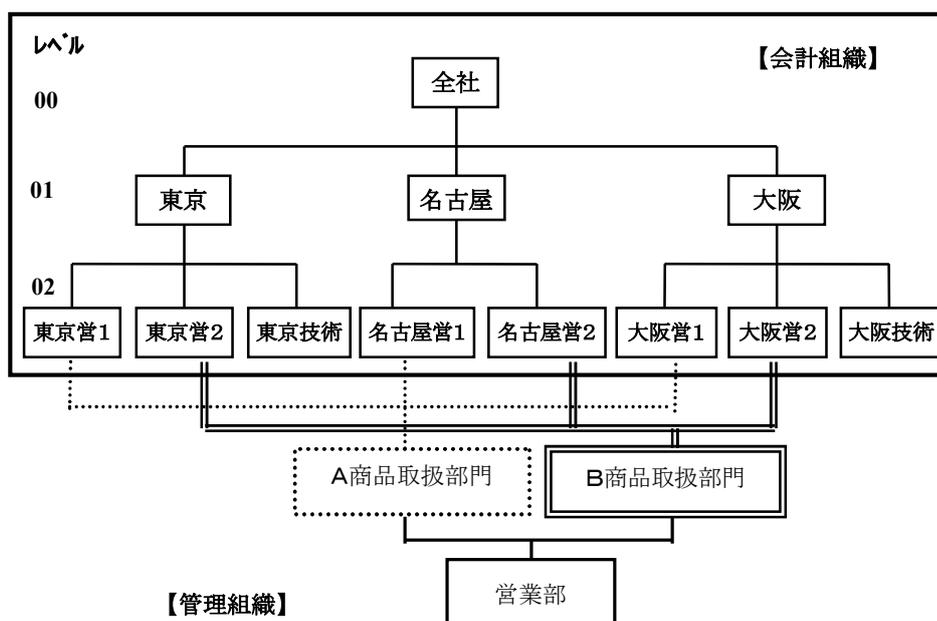
②組織レベル

組織パターン毎に何回層まで組織管理を行うか設定します。**SuperStream-CORE** では 00 から 99 まで、最大 100 階層のレベル管理が可能です。

会計組織では、「00」で全社レベル、「01」で本支店レベルでの設定が必須、それ以外は任意に設定が可能です。管理組織では「00」で全社レベルでの設定が必須で、それ以外は任意に設定が可能です。

③部門登録

会計組織・管理組織、それぞれに部門を設定します。会計組織には、仕訳の発生する部門を全て登録します。管理組織には、必要な部門だけ登録します。



7. セキュリティ設定

①パスワード

ログインの際必要なパスワードは、セキュリティ管理において最も重要な設定項目です。このパスワードを運用・管理するにあたり、以下のような設定が可能です。

- ・パスワード最小桁数
- ・パスワード誤入力許容回数
- ・パスワード有効日数
- ・有効期限切れ警告前日数
- ・初期パスワード有効日数
- ・パスワード世代管理
- ・類似パスワード利用制限
- ・パスワード暗号化保存
- ・ユーザー側でのパスワード変更不可設定

②ユーザーマスタ登録

SuperStream-CORE を利用するユーザーの ID を登録します。ユーザーID 毎に以下のような事項を設定します。

- ・ユーザー名
- ・パスワード
- ・所属部門
- ・メニューセット
- ・管理者区分
- ・処理区分
- ・前年仕訳
- ・処理対象支店
- ・伝票発番グループ
- ・仕訳複写
- ・過年度遡及
- ・他の伝票更新
- ・部門セキュリティ
- ・科目セキュリティ
- ・承認済伝票修正
- ・伝票承認レベル
- ・入出金承認レベル
- ・本支店仕訳承認レベル
- ・過年度遡及承認レベル
- ・有効期間開始日
- ・有効期間終了日

③メニュー登録

ユーザーによって、利用するメニュー・利用しないメニューがあると思われます。そこでメニューをグループ化し、グループ化したメニューをユーザーID に設定することで、システムの安全性を更に高めることができます。

④科目セキュリティ登録

ユーザー毎に入力可能な勘定科目を制限することが可能です。入力を許可されていない勘定科目は、伝票登録時に選択することができません。

⑤部門セキュリティ登録

ユーザー毎に入力可能な部門コードを制限することが可能です。入力を許可されていない部門コードは、マスタ登録画面以外では使用することができません。

⑥承認レベル

SuperStream-CORE では伝票に承認を設けることが可能ですが、ユーザー毎に承認レベルを設定することが可能です。承認を許可されていないユーザーは承認処理が行えません。また、承認済みの伝票に対する修正権限も、ユーザーID 毎に設定が可能です。

VI. 機能関連

1. 各種入力

①振替伝票入力

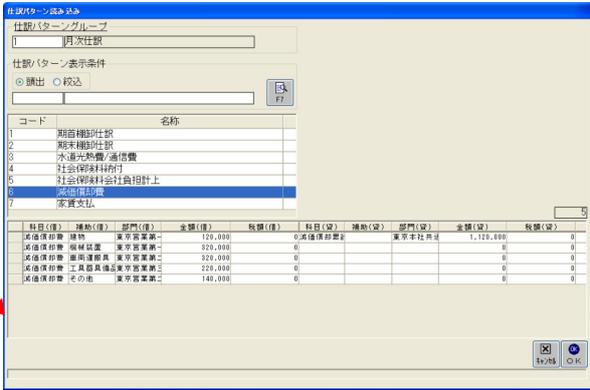
貸借の振替伝票形式で仕訳が入力できます。頻繁に発生する仕訳は「仕訳パターン」として登録しておく、次回からそのパターンを呼び出して入力を行うことが可能になりますので、入力作業を省力化して頂けます。「仕訳パターン」はグループ化して管理することが可能です。その他、過去伝票を複写して、仕訳伝票を作成する事も可能です。

仕訳の主な入力項目は以下の通りです。

伝票日付	初期値はシステム日付ですが、前年度の決算月以降翌年度末までの任意の日付を指定できます。決算中に新月度、新年度へ入力することも可能です。但し、月次更新された月の日付は入力できません。
伝票発番グループ	このグループ単位に伝票番号が発番されます (Ex. 支店毎に伝票番号を発番させたい)。2桁のコードで設定が可能です。
伝票番号	手入力、自動発番(月間連番、年間連番)から選択可能です。番号は8桁です。
自動洗替	仕訳入力時に指定することにより、翌会計月に洗替伝票が自動作成されます。
科目、補助科目、部門、相手先、機能コード 1~4	コードは手入力、参照ウィンドウからの選択、どちらも可能です。設定のある項目のフィールドにのみフォーカスが移動してデータチェックをしますので、入力の間違いや漏れがありません。
金額	1明細につき15桁までの金額を入力できます (DB上は18桁まで保持します)。
消費税	勘定科目マスタの登録に従って自動計算します。設定とは異なる税処理が必要な場合には、入力時に変更も可能です。本体金額が0の場合でも、消費税額のみが入力が可能です。 マスタ登録により、科目、補助科目、機能1~4の組み合わせに対して、税処理コードを紐づけることができます。
外貨	通貨および金額を入力します。(外貨入力を設定した科目のみ)
摘要	貸借別に全角20字×2段(計40字)まで入力できます。 よく使用するものは登録(全科目共通/科目別)しておき、コードで呼び出すことも可能です。

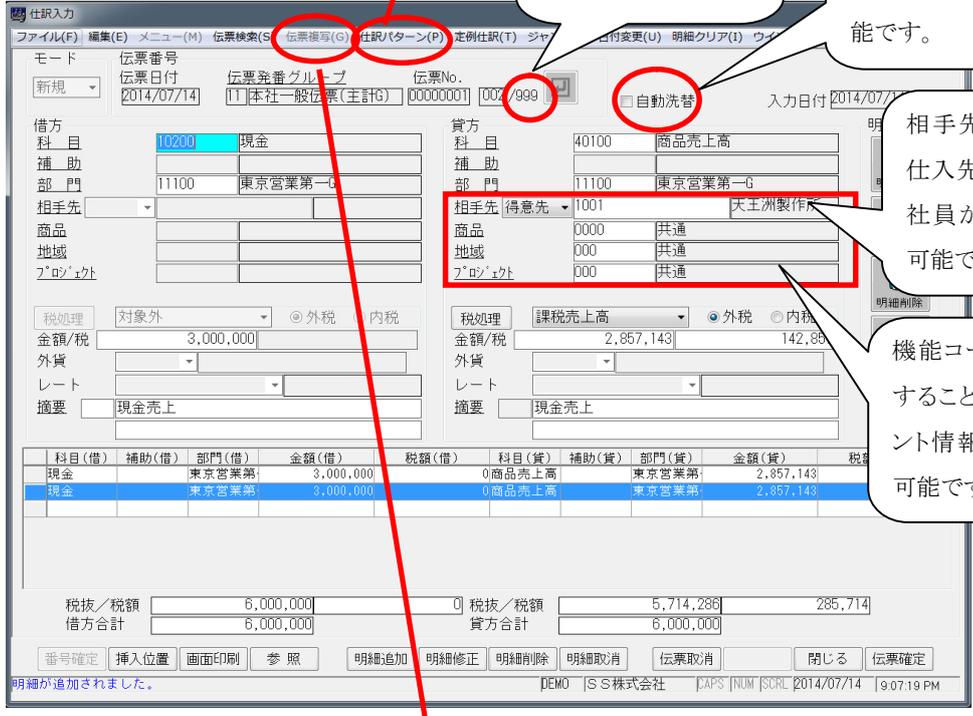
伝票を入力し確定ボタン実行後、マスタの設定により自動的に伝票を更新(残高も更新)することが可能です。また、同じくマスタの設定により自動的に振替伝票を印刷することも可能です。

【パターン仕訳機能】
毎月のように定期的が発生する仕訳をパターン化して登録することが可能です。



1 伝票につき最大
999 行の明細が登録
可能です。

翌会計月に洗替
伝票を自動作成可
能です。



相手先コードは
仕入先/得意先/
社員から選択が
可能です。

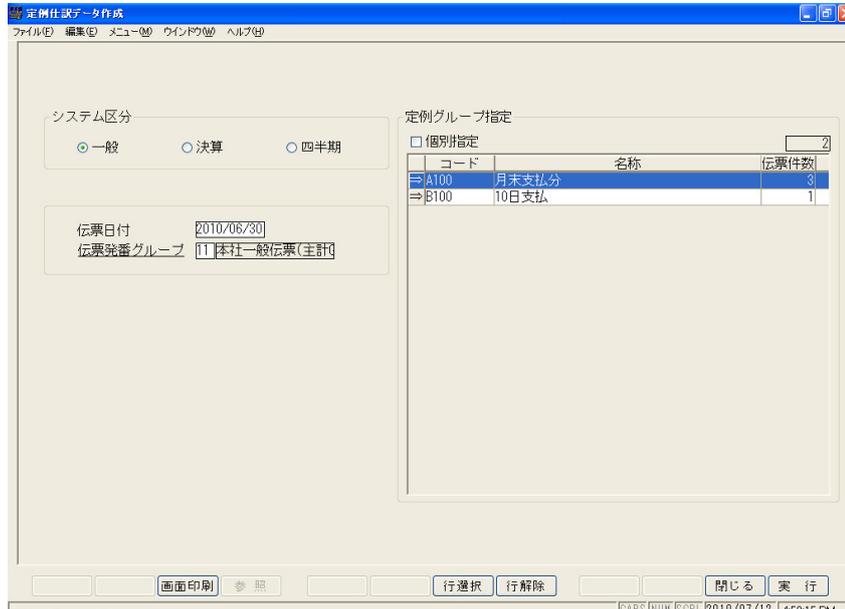
機能コードを設定
することで、セグメン
ト情報の管理が
可能です。



【伝票複写機能(コピー)】
過去に登録された仕訳をさまざまな検索
条件で絞り込んで探して、その過去仕訳
のコピーで新規伝票を作成することが可
能です。
過去と同じような伝票を作成するときに
便利です。
またコピーする際に貸借反転またはマイ
ナス金額で作成する指定もできますの
で、逆仕訳作成にも便利です。

② 定例仕訳機能

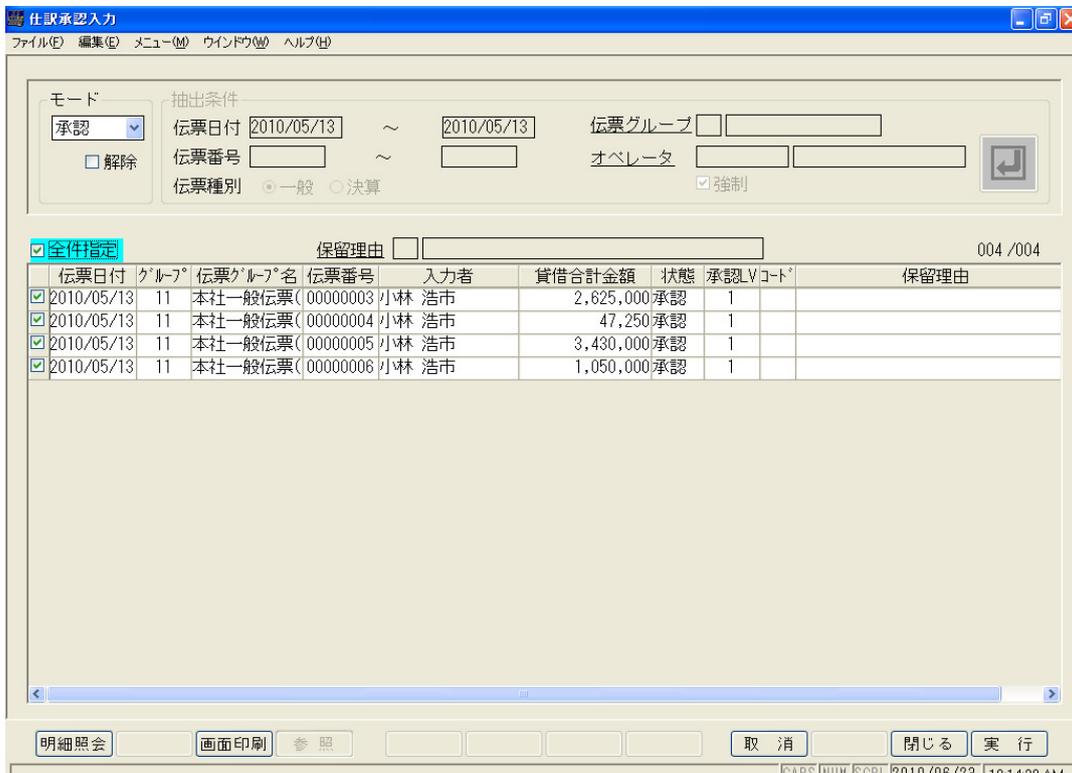
定期的に発生する仕訳を予め登録しておくことで、ボタン一つで仕訳を発生させることが可能です。



③ 伝票承認機能

入力した仕訳の承認を行います。承認レベルは最大 8 段階まで設定が可能です。

ユーザー毎に承認可能な伝票グループを制限することも可能です。



④入出金伝票入力

入金処理であれば借方、出金処理であれば貸方の勘定科目(現預金科目)を固定して明細の入力が行えます。

入金入力

モード: 伝票番号
 伝票日付: 2010/06/23
 伝票発番グループ: 11 本社一般伝票(主計G)
 伝票No.: 00000001 001/999
 入力日付: 2010/06/23

借方
 科目: 当座預金
 補助: みずほ/五反田
 部門: 東京本社共通
 相手先: [] プロジェクト: []
 摘要: []

貸方
 科目: 13500 売掛金
 補助: []
 部門: 11100 東京営業第1-G
 商品: []
 地域: []
 プロジェクト: []

相手先: 得意先 1001 勝どき製作所
 税処理: 対象外
 金額/税: 578,000
 外貨: []
 レート: []
 摘要: []

科目(借)	補助(借)	部門(借)	金額(借)	税額(借)	科目(貸)	補助(貸)	部門(貸)	金額(貸)	税額(貸)
当座預金	みずほ/五反田	東京本社共	578,000	0	売掛金		東京営業第	578,000	0

税抜/税額: 578,000 / 0
 借方合計: 578,000
 税抜/税額: 578,000 / 0
 貸方合計: 578,000

番号確定 挿入位置 画面印刷 参照 明細追加 明細修正 明細削除 明細取消 伝票取消 閉じる 伝票確定

出金入力

モード: 伝票番号
 支払日付: 2010/06/23
 伝票発番グループ: 11 本社一般伝票(主計G)
 伝票No.: 00000001 001/999
 入力日付: 2010/06/23

借方
 科目: 当座預金
 補助: みずほ/五反田
 部門: 東京本社共通
 相手先: [] プロジェクト: []
 摘要: []

貸方
 科目: 72800 交際接待費
 補助: []
 部門: 11100 東京営業第1-G
 商品: []
 地域: []
 プロジェクト: 001 プロジェクトA

相手先: []
 税処理: 課税仕入
 金額/税: 30,000 / 1,500
 外貨: []
 レート: []
 摘要: []

支払方法: F B 振込振替

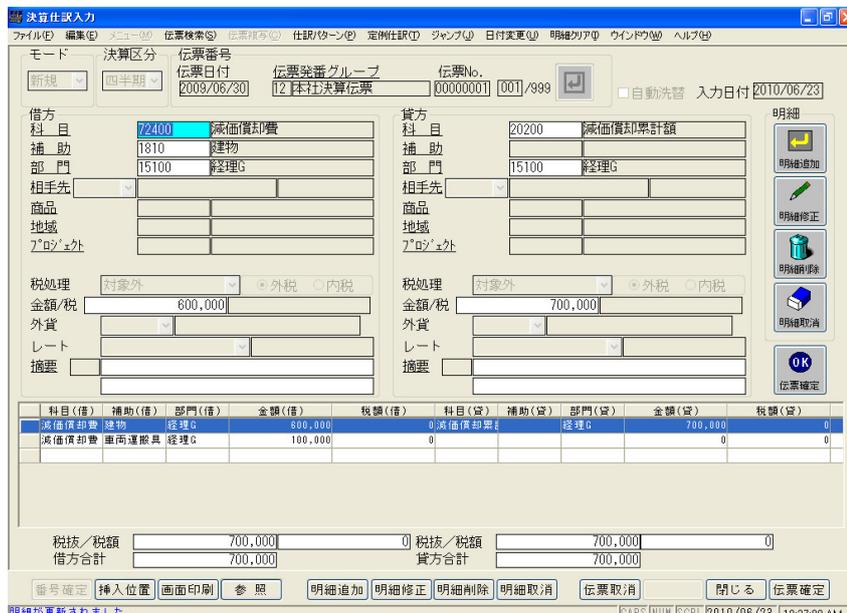
科目(借)	補助(借)	部門(借)	金額(借)	税額(借)	科目(貸)	補助(貸)	部門(貸)	金額(貸)	税額(貸)
交際接待費		東京営業第	30,000	1,500	当座預金	みずほ/五反田	東京本社共	31,500	0

振込手数料/税額: 0 / 0
 税抜/税額: 30,000 / 1,500
 借方合計: 31,500
 税抜/税額: 31,500 / 0
 貸方合計: 31,500

番号確定 挿入位置 画面印刷 参照 明細追加 明細修正 明細削除 明細取消 伝票取消 閉じる 伝票確定

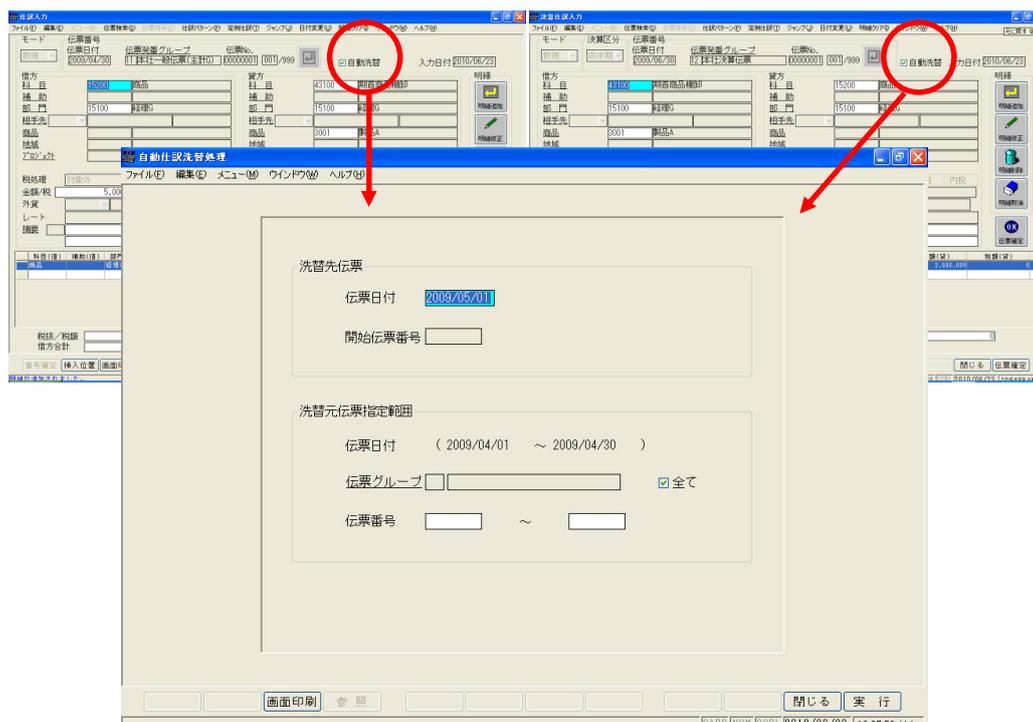
⑤決算仕訳入力

通常の仕訳入力とは別に、決算仕訳入力用の画面を用意しています。入力方法は、ヘッダー部分で「決算区分」を選択すること以外、振替伝票入力画面と全く同じです。この画面から入力された決算用仕訳は、データ上、通常の仕訳とは別に管理されます。



2. 洗替伝票作成機能

「仕訳伝票入力」「決算仕訳入力」画面より入力した伝票に対して洗替伝票自動作成の指定を行うと、翌月または翌期に洗替伝票を自動作成することが可能です。洗替の仕訳は、貸借反転またはマイナス金額どちらで発生させるか、マスタで指定することが可能です。また、二重発生も制御されています。



3. 伝票明細消込日付設定

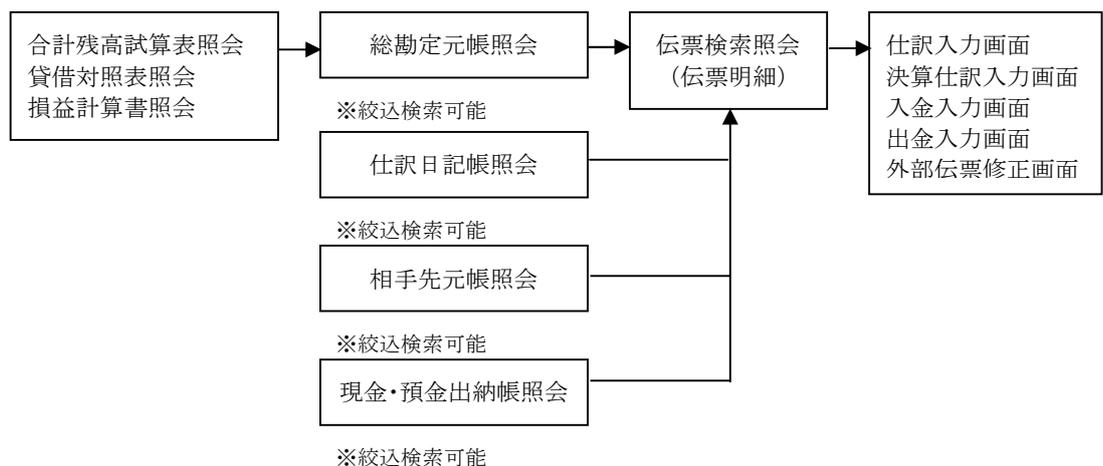
仕訳伝票を明細ごとに抽出し、消込日付を入力することにより、未消込残高を把握することができます。

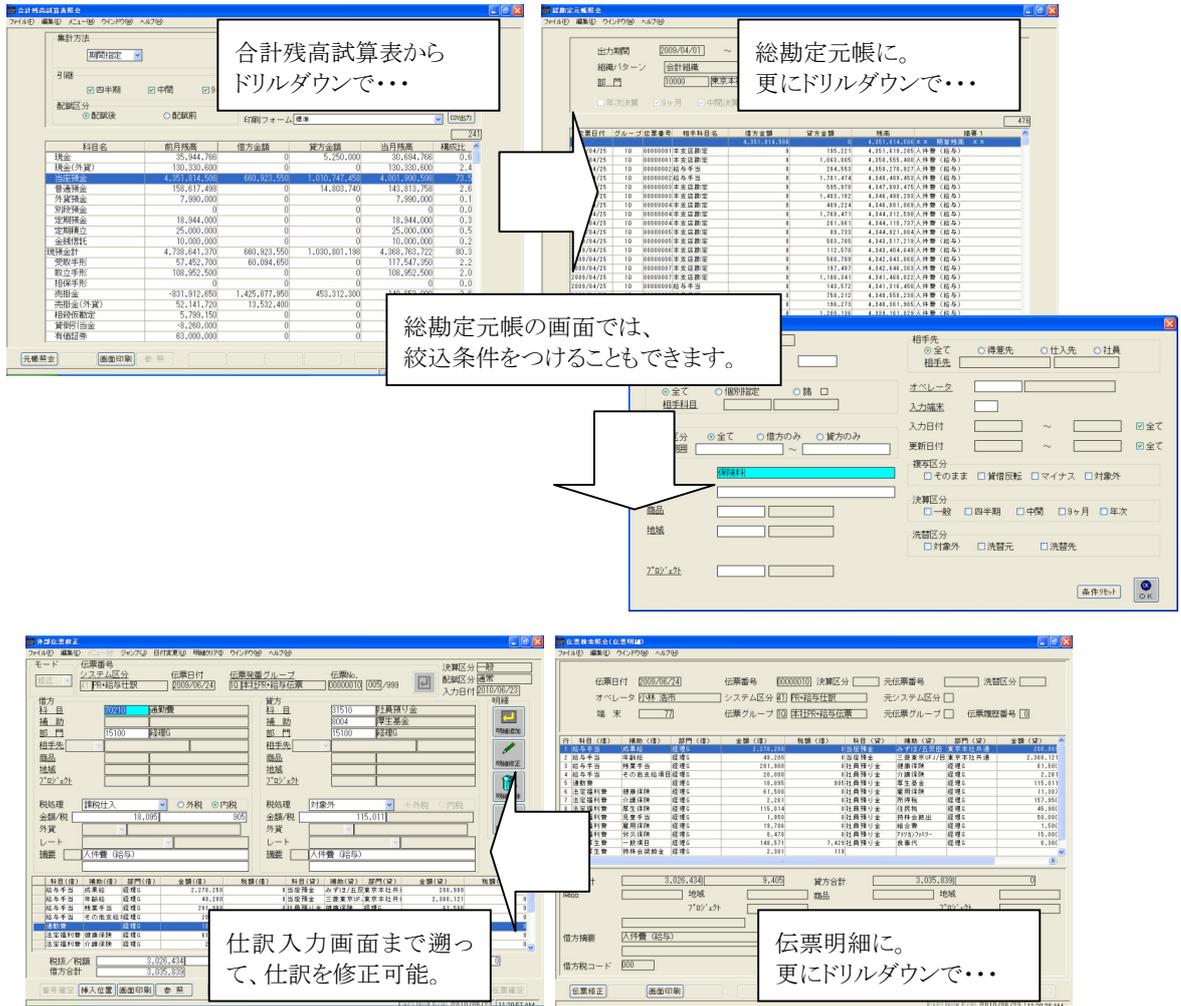
消込日付	メモ	伝票日付	伝票番号	行	部門コード	部門名	科目コード	科目名	借方金額	貸方金額	摘要
2013/04/30		2013/04/01	00000001	1	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/04
2013/05/31		2013/04/01	00000001	2	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/05
2013/06/30		2013/04/01	00000001	3	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/06
		2013/04/01	00000001	4	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/07
		2013/04/01	00000001	5	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/08
		2013/04/01	00000001	6	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/09
		2013/04/01	00000001	7	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/10
		2013/04/01	00000001	8	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/11
		2013/04/01	00000001	9	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2013/12
		2013/04/01	00000001	10	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2014/01
		2013/04/01	00000001	11	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2014/02
		2013/04/01	00000001	12	115100	経理G	31400	前受金	100,000	100,000	契約金一括受取 2014/03
2013/04/30		2013/04/30	00000002	1	115100	経理G	31400	前受金	100,000		2013/04分
2013/05/31		2013/05/31	00000001	1	115100	経理G	31400	前受金	100,000		2013/05分
2013/06/30		2013/06/30	00000001	1	115100	経理G	31400	前受金	100,000		2013/06分

	借方	貸方	差額
全明細合計	300,000	1,200,000	-900,000
消込済明細合計	300,000	300,000	0

4. 画面照会機能

期間・部門・科目等の条件を指定すると、仕訳単位・残高単位でデータを画面で照会することが可能です。照会された結果からダブルクリックの操作を繰り返すことで、入力画面まで遡ることが可能です。これを「ドリルダウン機能」と言います。遡る時の画面の遷移は以下となります。ユーザーID に権限を与えることで、この「ドリルダウン機能」を利用して直接仕訳伝票の修正や明細追加が行えます。





画面として以下の 16 画面をご提供しています。その内、「ドリルダウン機能」が利用できるのは、“※”マークの付いた 10 画面となります。

- ・仕訳日記帳照会 ※
- ・伝票検索照会 ※
- ・相手先元帳照会 ※
- ・合計残高試算表照会 ※
- ・貸借対照表照会 ※
- ・損益計算書照会 ※
- ・総勘定元帳照会 ※
- ・現金・預金出納帳照会 ※
- ・製造原価報告書照会 ※
- ・株主資本等変動計算書照会 ※
- ・科目・補助残高照会
- ・仕訳チェックリスト照会
- ・他システム伝票検索照会
- ・入出金チェックリスト照会
- ・銀行別預金別月別残高表照会
- ・銀行別預金別日別残高表照会

また、合計残高試算表照会の出力条件指定画面には「未更新伝票を反映する」チェックボックスをご用意しており、更新処理前の伝票を含めて集計結果を出力することが可能です。
これにより、上長の承認を待たずに損益の即時把握を行うことができます。

合計残高試算表照会

ファイル(F) 編集(E) メニュー(M) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

過年度遡及: 遡及後 | 基準会計期: 17期 | 期間: 2011/05 ~ 2011/05

集計方法: 期間指定

引継: 四半期 中間 9ヶ月

配賦区分: 配賦後 配賦前

未更新反映: 未更新伝票を反映する

組織/パターン: 会計組織 | 部門: 10000 | 東京本社 | 印刷フォーム: 標準

CSY出力

科目コード	科目名	前月残高	借方金額	貸方金額	当月残高	構成比
10200	現金	24,029,186	0	0	24,029,186	0.1
10210	現金(外貨)	130,330,600	0	2,026,250	128,304,350	0.4
11100	当座預金	24,481,610,982	211,425,900	79,248,722	24,613,788,160	67.8
11200	普通預金	554,612,318	0	304,878,647	249,733,671	0.7
11210	外貨預金	7,990,000	0	0	7,990,000	0.0
11400	別段預金	0	0	0	0	0.0
12100	定期預金	18,944,000	0	0	18,944,000	0.1
12200	定期積立	25,000,000	0	0	25,000,000	0.1
12300	金銭信託	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0
00030	現預金計	25,252,517,086	211,425,900	386,153,619	25,077,789,367	69.1
13100	受取手形	591,650	37,455,600	0	38,047,250	0.1
13110	取立手形	412,650,700	0	0	412,650,700	1.1
13120	担保手形	0	0	0	0	0.0
13500	売掛金	2,964,291,500	239,992,200	37,455,600	3,166,828,100	8.7
13510	売掛金(外貨)	52,290,000	0	0	52,290,000	0.1

元帳照会 | 画面印刷 | 参照 | 閉じる | 実行

DEMO | S S 株式会社 | CAPS NUM SCRL | 2012/07/03 | 7:21:55 PM

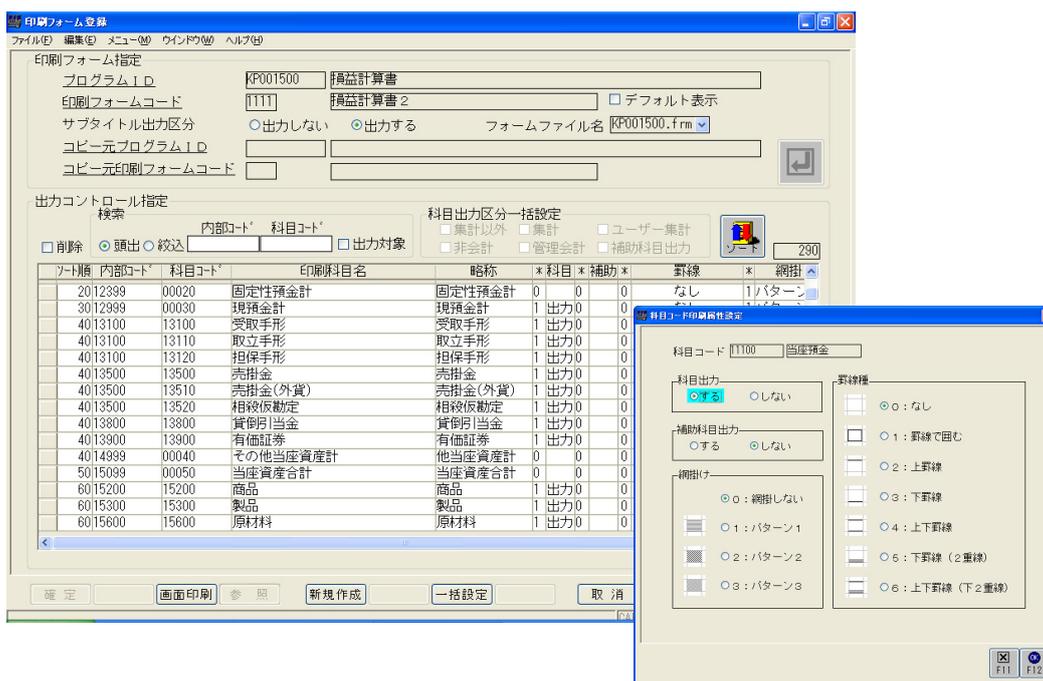
5. 帳票出力機能

SuperStream-CORE が標準でご提供している各種帳票を出力される場合、全ての帳票の出力先を以下の中からご選択頂くことが可能です。

- ①プリンタ(紙で出力)
- ②印刷プレビュー
- ③Excel/CSV 出力
- ④保存(後で出力)
- ⑤リスト管理サーバー(インストール済みの場合。Browser から参照可能。)

同じ帳票であっても利用者や提出先が異なる場合に、表示したい勘定科目や見せ方を変更したいことがあります。SuperStream-CORE では“印刷フォーム”という機能をご利用頂くことで、同一の帳票を複数の表示形式で利用することが可能になります。“印刷フォーム”で制御できる項目は以下の通りです。

- ・科目の表示順
- ・合計行の表示位置
- ・科目の表示/非表示
- ・補助科目の表示/非表示
- ・網掛けの種類(3種類)
- ・罫線の種類(6種類)



残高がゼロ(0)円である、科目データ、補助科目データについて、主要な帳票上に「出力する」か「出力しない」かを、“CORE初期値マスタ”で設定できます。設定可能な帳票は、以下の通りです。

- ・合計残高試算表
- ・貸借対照表
- ・損益計算書
- ・現金預金出納帳(残高)
- ・貸借対照表(包括利益用)
- ・損益計算書(包括利益用)

6. 本支店機能

本店と支店、支店と支店との間で発生する本支店取引を、本支店用振替伝票として入力することにより、振替元伝票・振替先伝票を自動作成します。通常の仕訳入力画面とは別に、本支店用仕訳入力画面を用意しています。複数支店間に跨る本支店仕訳入力用画面も、別途用意しています。

7. 予算管理

4桁のコードで複数予算を同時に保持することができます。予算には機能コードが利用可能なので、プロジェクト別予算管理等も実現します。予算登録には Excel を利用します。その為、現場で予算を登録してもらい管理部門で一括管理することが容易です。標準帳票を用いた実績との比較が可能です。

8. 配賦計算

①配賦登録

配賦を実行させるパターンを複数登録できます。そのパターン毎に配賦元、配賦基準、配賦先などの配賦方法を登録します。配賦基準の登録については複写が可能ですので、同じ配賦基準を複数のマスタで使用する場合は、設定に掛かる作業を省力化できます。配賦元科目は複数科目指定が可能です、P/L、B/S科目ともに選択可能です。また、配賦元に‘付替科目’および‘付替補助’の選択ができ、配賦元の科目の付替も可能です。更に、配賦元で期首からの累計額を配賦金額として使用することができます。

※配賦基準:

配賦計算を実行する際の基準として、以下の4種類から選択が可能です。

残高比 : 基準となる科目を選択します。更に、その基準科目の当月発生残高か前月発生残高、或いは当月までの累計残高か前月までの累計残高、いずれの金額を基準とするか指定します。また、非会計科目を指定しての配賦も可能です。

統計比 : 部門毎の人数や床面積などを、予め統計値として登録しておき、その数値を基準として配賦します。

固定比 : 部門毎に固定比率を指定し配賦します。

固定額 : 部門毎に固定額を指定し配賦します。

②配賦仕訳

配賦結果をマスタに反映させるための仕訳は、システムが自動生成します。

③配賦後の残高

配賦後の残高は通常の科目残高とは別枠で保持されます。この為、帳票出力の際は配賦前の金額、配賦後の金額、どちらも参照することが可能です。

④多段階配賦に対応

段階的に行う配賦処理を1グループにまとめて登録し、処理順序を指定して実行させることで可能になります。また、配賦するパターンを複数回実行するという方法でも対応可能です。

The screenshot displays the '配賦登録' (Allocation Registration) window. At the top, there are fields for '配賦グループ' (Allocation Group) and '配賦処理' (Allocation Process). Below this, the '配賦方法' (Allocation Method) is set to '残高比' (Residual Ratio). The '残高比' (Residual Ratio) section includes '基準科目' (Standard Account) set to 40100 '商品売上高' (Sales of Goods) and '基準補助' (Standard Auxiliary). The '統計比' (Statistical Ratio) section is also visible. A table lists various account codes and names, such as 71800 '支払手数料' (Sales Commission) and 72100 '消耗品費' (Consumables). A pop-up window is open, showing the '配賦方法' (Allocation Method) settings, including '残高比' (Residual Ratio) and '統計比' (Statistical Ratio) options.

9. キャッシュ・フロー計算書作成

①自動仕訳&精算表

設定した CF 科目属性に基づき、自動仕訳を作成します。また、キャッシュ・フロー精算書も作成できます。精算書は Excel に出力することも可能です。

②調整仕訳入力

キャッシュ・フロー計算書に項目または科目単位で金額を調整するための仕訳が登録できます。仕訳は一般の仕訳伝票とは区別して管理されます。

③キャッシュ・フロー計算書

貸借対照表・損益計算書からの調整方式により、キャッシュ・フロー計算書が出力可能です。「営業活動に伴うキャッシュ・フロー」の表示形式は間接法(純額法)を採用しています。

キャッシュ・フロー計算書		2004/10/07 15:38:05
エスエス・デモ株式会社	自2004年04月01日	1 頁
部門：本社	至2005年03月31日	
	単位	円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益		327,966,520
減価償却費		12,916,190
有形固定資産除却損		5,476,190
受取利息及び受取配当金		-1,281,780
支払利息		1,681,100
有価証券売却損益		-123,000
有形固定資産売却損益		-750,000
売上債権の増減額		-1,734,730,000
仕入債務の増減額		1,490,912,400
小計		102,067,620
利息及び配当金の受取額		1,281,780
利息の支払額		-1,681,100
法人税等の支払額		-101,130,000
営業活動によるキャッシュ・フロー		538,300
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出		-155,000,000
定期預金の払戻による収入		280,000,000
有価証券の取得による支出		-12,000,000
有価証券の売却による収入		10,123,000
有形固定資産の取得による支出		-14,190,476
投資有価証券の取得による支出		-6,700,000
投資有価証券の売却による収入		5,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		107,232,524
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		35,000,000
短期借入金の返済による支出		-30,000,000
長期借入による収入		100,000,000
長期借入金の返済による支出		-80,000,000
社債の償還による支出		-10,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		15,000,000
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		0
V. 現金及び現金同等物の増加額		-25,207,420
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		137,457,000
VII. 現金及び現金同等物の期末残高		112,249,580

10. その他

①税効果会計

繰延税金資産と繰延税金負債を自動的に相殺し、貸借対照表上に表示します。また、通常の損益計算書項目に加えて、法人税等調整額及び税効果適用初年度に計上する過年度調整額など、税効果会計に必要な勘定科目の設定が可能です。

②時価会計

貸借対照表、合計残高試算表上に評価差額金合計額を表示します。なお、評価差額金などの時価会計に必要な勘定科目の設定が必要です。

③外貨機能

i. 通貨・換算レートの登録

仕訳入力時の外貨金額を邦貨に自動換算するために、通貨コード・レートコード及びレートを予めマスタに登録します。また、レートについては複数種類のレートに各々有効日付を設定することが可能です。

ii. 為替差損益の算出

指定されたキー(科目、部門、機能コード etc.)によって、月次の為替差損益を算出し仕訳を生成します。また、洗い替え用の仕訳も同時に生成することができます。

④プロジェクト機能

i. プロジェクト機能の選択

プロジェクト機能を使用することにより、会計期間にとらわれずに管理項目(=プロジェクト)の発生から終了までの損益の把握をすることが可能です。

ii. プロジェクト関連帳票

プロジェクト毎の科目残高やプロジェクト別予算実績対比損益計算書を標準で用意しています。

⑤現預金管理機能

SuperStream 共通の銀行口座マスタに預金口座を登録することにより、仕訳情報から預金口座別の受払額、残高を管理することができます。現金も同様に管理できます。

⑥資金繰管理機能

資金繰表は、日次・月次・期末(四半期、半期、通期)の3種類が出力可能です。

SuperStream-AP+や **SuperStream-AR+**などの他システムから入出金予定データを読み込み、仕訳データから抽出した実績データと組み合わせることによって資金繰表を出力します。

また、外部データの取込だけでなく資金繰計画入力画面より入金・出金の予定データを登録し帳票に反映することもできます。

⑦法人合算機能

SuperStream-CORE 内で複数法人管理をしている場合、任意の会社の残高を合算用会社を集計し合算の損益計算書、貸借対照表等の管理資料を出力することが可能です。

⑧新会社法対応

i. 貸借対照表、損益計算書の表示対応

新会社法に対応した貸借対照表、損益計算書の出力が可能です。(表示項目の変更)

ii. 株主資本等変動計算書の出力

変動項目と純資産科目との関係付けを行ない、それにしたがって SuperStream-CORE に保持された仕訳明細からデータを抽出して作成します。また、仕訳データを直接検索し、設定を行うことも可能です。

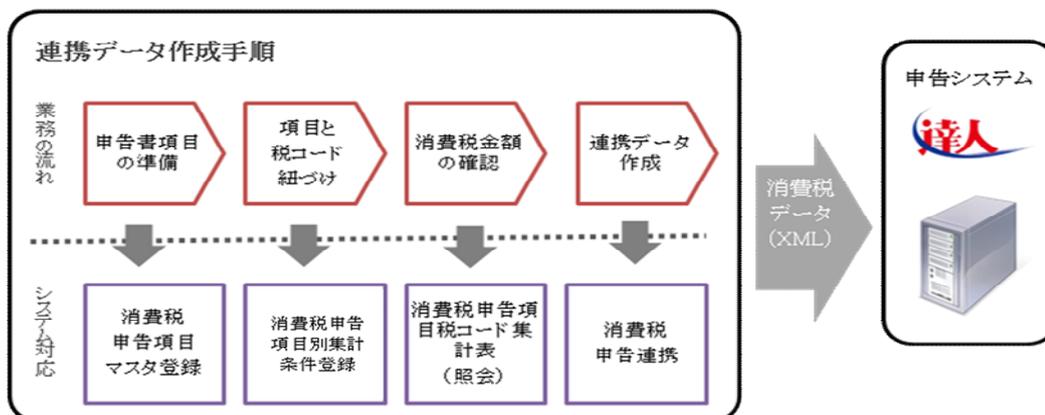
株主資本等変動計算書													2006/09/28 17:14:46	
S S株式会社 部門：全社		2005年04月～2006年03月						年次決算		引継：四半期/中間/3ヶ月		配賦後 (単位：円)		1 頁
	株主資本				利益剰余金				評価・換算差額等			純資産合計		
	資本金	資本準備金	他資本剰余金	自己株処分差益	利益準備金	利益剰余金 引当積立金	繰越利益剰余金	自己株式	繰延ヘッジ損益					
前期期末残高	50000000	50000000	0	0	50000000	0	0	0	2000000	0	0	105200000		
新株の発行	128000000	127000000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253000000		
新株予約権行使	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-8000000		
剰余金の配当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期純利益	0	0	0	0	0	0	388641882	0	0	0	0	388641882		
自己株式の取得	0	0	0	0	0	0	0	-5000000	0	0	0	-5000000		
自己株式の処分	0	0	0	1000000	0	0	0	5000000	0	0	0	6000000		
自己株式の消却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
企業結合の増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃業による減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
準備金への振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
剰余金への振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
資本金への振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
剰余金内振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
準備金から振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
剰余金から振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繰延ヘッジ損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繰延ヘッジ直計上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
新株予約権発行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10000000		
新株予約権取得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
新株予約権失効	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2000000		
株主資本外変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期変動額合計	128000000	127000000	0	1000000	0	0	388641882	0	0	0	0	1137641882		
当期期末残高	828000000	827000000	0	1000000	50000000	0	388641882	2000000	0	0	0	2189641882		

⑨過年度遡及仕訳入力

過去の財務諸表での誤謬の訂正を、遡及仕訳入力画面より行なう事ができます。また、誤謬訂正を反映した財務諸表が出力可能です。

⑩消費税申告連携

株式会社NTTデータの申告書作成ソフト「消費税の達人」と連携して、消費税の申告書や各種届出書を作成することができます。これによって、**SuperStream-CORE**で管理している仕訳データを元に、消費税申告書を簡単に作成できます。



※達人シリーズは、株式会社NTTデータ様の製品です。

消費税申告連携処理画面



⑪非継続事業対応

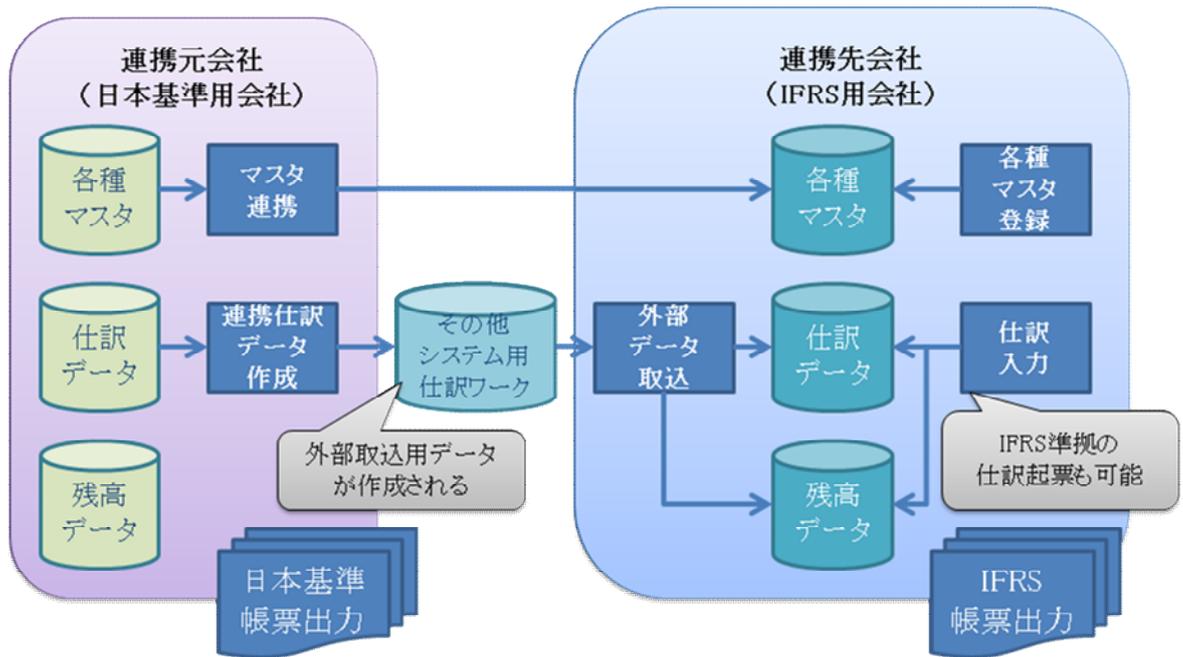
継続的な事業の遂行を前提とした「継続事業」と、将来の事業売却や中止を前提とした「非継続事業」を、主たる損益計算書で区別した表示が可能です。どの事業が非継続に該当するかについては、会計部門および機能コード1~4に対して設定可能です。

また、CORE 初期値マスタにて、各種損益計算書に対して「非継続事業」を出力するかどうかの指定が行えます。

⑫IFRS 複数帳簿対応

IFRS 基準での財務諸表出力を行う為、「日本会計基準(ローカル会計基準)」と「IFRS 基準」の会計残高を継続的に保持します。日本会計基準で登録した仕訳データを IFRS 基準帳簿に連携する事により、日本基準、IFRS 基準それぞれの財務諸表が出力できます。

SuperStream における複数帳簿の考え方



【SuperStream シリーズ共通機能】

以下の機能は、**SuperStream-CORE**シリーズ全プロダクトの共通機能になります。

●メニュー設定

ユーザー毎に、使用する画面を特定させることができます。また、使用する画面を自由にグルーピングすることができます。

●レポート出力

各プロダクトが標準で提供している帳票は、以下の5通りの出力方法があります。

- ◇印刷出力：帳票をプリンタへ出力します。
- ◇印刷プレビュー：帳票イメージを画面に出力します。
- ◇Excelへの出力：CSV形式のテキストファイルに帳票データを出力します。
- ◇スプール出力：スプールさせておき、後から印刷出力します。
- ◇リスト管理サーバー：Web環境での帳票参照を可能にするため、サーバー上へデータ出力します。
(事前にリスト管理サーバーのインストールと設定作業が必要)

●プログラム自動配信機能

SuperStream へのログイン時にクライアントモジュールの差分を確認し、差分があれば自動配信して同期をとります。各クライアントに初期インストールする以外の手間がなくなる事により、利用ユーザー様はもちろん、システム管理者様の負担軽減となります。

連携イメージ

